

平成 21 年 6 月 11 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2008

課題番号：18320034

研究課題名（和文） コンテンポラリーダンスの美学的分析とその社会基盤

研究課題名（英文） The Aesthetics and the social basis of contemporary dance

研究代表者 尼ヶ崎 彬（AMAGASAKI AKIRA）

学習院女子大学・国際文化交流学部・教授

研究者番号 3269922420

研究成果の概要：コンテンポラリーダンスは、1990 年前後に世界各地で生まれ、わが国もその中心のひとつである。本研究は、その公演規模（社会的ニーズ）、美的質、社会基盤（政府などによる支援など）について、過去 25 年分 10 万件におよぶ統計資料作成、各国政府資料調査、聞き取りなどをおこない、各国の状況を明らかにした。その結果、公的支援が貧弱なわが国においても、公演数／支援額比においては見るべきものがあることなどが明らかになった。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
2007年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
2008年度	3,800,000	1,140,000	4,940,000
年度			
年度			
総計	12,400,000	3,720,000	16,120,000

研究分野：舞踊美学

科研費の分科・細目：哲学・美学

キーワード：ダンス、上演芸術、現代舞踊、美学、アートマネジメント、文化マネジメント、文化政策、身体

## 1. 研究開始当初の背景

1990 年代以降日本では「コンテンポラリーダンス」と呼ばれる新たな舞踊形態が、従来の日本舞踊・バレエ・モダンダンスとは異なる文脈で誕生し、しかもその成果は国際的な評価を得た。またこれは世界でも似たような現象が並行して起こっていた。しかしこの現象について、その美学的分析や、社会的背景の研究はまだ組織的に行われてはいなかった。

## 2. 研究の目的

「コンテンポラリーダンス」について、その独自の美的効果を美学的に探究し、それ

が誕生し、認知され、発展してゆくプロセスを社会的・経済的基盤の調査等を通じて明らかにし、またその状況を国際的に比較することによって、その全容を把握することを目的とする。

## 3. 研究の方法

(1)コンテンポラリーダンスの上演者（カンパニー、振付家）リストの作成、首都圏ならびに全国の舞踊公演回数、作品数、観客数、公演形態（劇場やフェスティバル運営、制作プロダクションなどの制作状況、公的・私的な助成状況）に関する悉皆的調査、

- (2)日本の代表的な振付家、カンパニーにおける身体技法、演出技法などの聞き取り調査に基づく美学的研究、  
 (3)海外の振付家、カンパニーに関する美学的研究、  
 (4)国内カンパニー、劇場・フェスティバル運営の実態に関わる事例研究、  
 (5)海外カンパニー、フェスティバル運営実態の事例研究。

#### 4. 研究成果

- (1)過去 25 年のコンテンポラリーダンス公演について約 10 万件のデータベースを作成。  
 (2)内外の舞踊家・舞踊団運営者・行政担当者・財団関係者・劇場ないしフェスティバルプロデューサー等からのヒアリング。  
 (3)上記資料に基づく分担研究者らの分析・研究により、現在の状況および課題を明らかにした。  
 (4)上記状況および課題に関して国際シンポジウムを開催し、比較検討した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 9 件)

尼ヶ崎 彬 'Devenir et réagencement: les modèles de création dans la danse contemporaine', *Quant à la danse* numéro quatre 2006 pp.34-38

尼ヶ崎 彬 「日本のコンテンポラリーダンスの現在」*The Effects of Dance in Global Era* (大韓舞踊学会) 2006, pp.27-32

尼ヶ崎 彬 「私芸術とインタラクティブ」『大航海』70号 2009 pp.129-137

貫 成人 「東京身体: アジアから問う身体的実存」『実存思想論集』XXII巻 2008, pp.5-29

貫 成人 「ダンスを見る〈眼〉」『メルロ＝ポンティ研究』2008 p.273ff

貫 成人 「パレルモに響くもの」『Corpus』, no.5, 2008. pp.7~12

貫 成人 「意識のさまざまな起源」『大航海』69, 2008, pp.28-35

貫 成人 「近代の残滓としての芸術」『大航海』70号 2009 pp.42-49

島津 京 「美術館とダンス——展示室でダンスは踊れるか」『舞踊学』31 巻 2008, pp.73-78

〔科研費研究成果報告書論文〕(計 12 件)  
貫 茂人 「針の先で何人まで踊れるか——調査の目的と成果」

尼ヶ崎 彬 「生活世界の芸術——「関心性」の美学と「遊芸」の復権」

荒谷 大輔 「芸術の経済——個々人の選好形成についての批判的考察」

丹羽 晴美 「美術館におけるコンテンポラリーダンスの試み」

島津 京 「近代美術からコンテンポラリー・ダンスへ—1910—1930 年代のシュレンマー、未来派、カンディンスキーにおけるダンス概念を中心に」

岡見さえ 「フランスの文化政策: 2009 年大統領年頭演説からさぐる今後の展望」

副島博彦 「文化連邦主義と「タンツプラン」: ドイツのダンス助成プロジェクトをめぐって」

石渕 聡 「日本の成功例—ダンスカンパニー・コンドルズの場合—」

桑田 光平 「問いとしてのダンス批評——イザベル・ローネーへの応答」

陸完順 (崔柄珠訳) 「舞踊団体 (人) に対する韓国の財政支援プログラムの状況—韓国文化芸術委員会とソウル文化財団を中心に—」

石川 洵 「横浜ダンスコレクション - R の軌跡: 私の考えるアートマネジメント」

マティアス・シュミーゲルト (副島博彦訳) 「せめぎ合う文化政策: タンツテアター・ヴァッパタール 1989-2005」

〔学会発表〕(計 7 件)

尼ヶ崎 彬 「日本のコンテンポラリー・ダンスの現在」大韓舞踊学会、2006 年 11 月、淑明女子大学 (ソウル)

尼ヶ崎 彬 「ダンスと映像/ダンスをライブで見ることと、その映像を見ることとはどう違うのか」早稲田大学演劇博物館グローバル COE、2007 年 3 月 11 日、早稲田大学

尼ヶ崎 彬 「日本舞踊と身体」ORC—NANA、2007 年 1 月、日本大学

尼ヶ崎 彬「公共芸術と親密芸術」専修大学  
哲学会、2007年4月、専修大学

貫 成人「哲学とパフォーマンス」、駒場哲  
学会、2006年4月29日、東京大学。

貫 成人「日本のポスト・モダンダンス」、  
ORC—NANA、2006年7月8日、日大芸術学部。

貫 成人「舞踊・共創コミュニケーション」、  
舞踊学会、2008年12月6日、お茶の水女  
子大学

〔図書〕(計 10 件)

貫 成人、PHP出版『哲学ワンダーランド』、  
2007年、272頁

貫 成人、青灯社『フーコー』、2007年、133  
頁

貫 成人、筑摩書房『真理の哲学』2008年、  
251頁

石渕 聡 春風社『冒険する身体』2006、248  
頁

貫 成人 (共著) 専修大学出版局『はんらん  
する身体』(うち、「自我の変容」) 2006、  
pp.121-150

貫 成人 (共著) 岩波書店『岩波講座 哲  
学11』(うち、「概念と方法」238-256頁)  
2009

荒谷 大輔 (共著) ナカニシヤ出版 熊野純  
彦・麻生博之編『悪と暴力の倫理学』(う  
ち「リベラリズムの身体」) 2006、pp.133-150

島津 京 (共著) 産経新聞『Bauhaus  
experience, Dessau = バウハウス・デッサウ  
展』2009

島津 京 (共著) ブリュック『イメージとパ  
ترون』2009

丹羽 晴美 (共著) 淡交社『やなぎみわ マ  
イ・グランドマザーズ』2009、pp57-63

〔その他〕

ホームページ

<http://www.cdr-net.com/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

尼ヶ崎 彬 (AMAGASAKI AKIRA)

学習院女子大学・国際文化交流学部・教授

研究者番号 70143344

### (2) 研究分担者

副島 博彦(SOEJIMA HIROHIKO)

立教大学・文学部・教授

研究者番号 30154694

貫 成人 (NUKI SHIGETO)

専修大学・文学部・教授

研究者番号 80208272

石渕 聡 (ISHIBUCHI SATOSHI)

大東文化大学・文学部・講師

研究者番号 80308155

荒谷 大輔 (ARAYA DAISUKE)

江戸川大学・社会学部・講師

研究者番号 40406749

島津 京 (SHIMAZU MISATO)

東京藝術大学・美術館・助手

研究者番号 80401496

丹羽 晴美 (NIWA HARUMI)

学習院女子大学・国際文化交流学部・研究員

研究者番号 30440259

### (3) 連携研究者

岡見 さえ (OKAMI SAE)

上智大学・文学部・非常勤講師